

地域消防力の充実強化

～水槽付きポンプ自動車を更新～

焼津市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

Q 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い手当が廃止になったが、今後また感染症が拡大した場合にどうするのか。

A この特殊勤務手当は国の基準に沿って制定したものであり、今回も国が終了することに伴い廃止する。今後感染症が拡大した場合は、国が再度制定すると思われる、市もそれに合わせ対応することになる。

特殊勤務手当の支給実績は。

A 県の応援職員として従事した職員に対して支給をしている。

焼津市税条例の一部を改正する条例

Q 今回対象になる電動キックボードの基準やナンバーについて伺う。

A 現行では出力毎の原動機付自転車として課税されている。そのうち長さ1.6メートル、幅0.6メートル、出力0.6キロワット、最

高速度時速20キロメートル以下のものは特定小型原動機付自転車となり、現行よりも小型のナンバーが発行される。



Q 森林環境税を個人住民税と併せ徴収することだが、その考え方は。

A 森林環境税については住民税と一緒に徴収するよう国から要請されている。市としてはそれに従い実行していく。

豊田地域交流拠点施設建設用地の取得

Q 交流拠点施設のレイアウトなどは確定しているのか。

A 現在実施しているところであり、基本設計業務の中で設計を行っている。今後は地元説明会を行い、

その際にいただいた要望等を踏まえ設計を進めていく。

水槽付き消防ポンプ自動車の取得

Q 市内には狭あい道路が多く車両が入りづらいところもあるが、すべての分団の消防ポンプ自動車水槽付きになっているのか。

A 大井川の16、17、18分団の3地区には、狭あい道路の対策として水槽付き消防ポンプ自動車を配備している。

Q 焼津地区の本町、城之腰、鵜ヶ島なども狭あい道路が多いがこちらの対応はどうか。

A 市街地などについては消火栓などの消防水利整備が進んでいることから、CD1タイプの小型車両を配備している。

Q 消防ポンプ自動車の更新時期は。

A また、納車が遅れることはないか。更新時期はメーカーに確認したところ、15年とのこと。また、納車時期を落札業者に確認したところ、問題は無いとのこと。

温泉スタンド(市役所と焼津港1号井)が9月に稼働！ ～市役所スタンドは市民等による温泉購入も可能～

市民福祉常任委員会

調停の申立て

Q 損害賠償提示額の根拠は。

A 公用車が衝突した塀の修繕費である。双方の主張に隔たりがあることから、調停にて双方の意見を聞き、話し合いにより合意することによって解決を図りたい。

建設経済常任委員会

焼津市温泉スタンド条例の制定

Q スタンドの温泉販売はいつからか。

A 9月1日より販売開始となる。

Q 市役所スタンドの一般利用料金を10ℓ毎に100円とした理由は。

A 1回30ℓで、1日30人が購入することを想定しており、施設に係る年間想定コストを賄えるよう、料金を設定している。

Q 一般的な浴槽の容量は200ℓ程度だと思われるが、1回の購入量を30ℓと想定している理由は。

A 焼津温泉は成分が濃いため、浴用施設への影響を考慮し、入浴剤のように薄めて利用してもらうことを考えている。



焼津市し尿処理事業特別会計補正予算

Q バキューム車更新のため、車両購入を令和6年度に行う債務負担行為とのことだが、いつ頃の納車か。

A 半導体不足の影響により、令和5年8月頃に発注し、令和6年12月から翌1月の納車を予定している。

Q バキューム車の更新目安は。

A 概ね10年10万kmを目安とするが、個々の車両の状態を見て判断しており、今回更新を予定する車両2台については、平成21年度に購入し、それぞれ走行距離が17万km、22万kmであった。

市議会インターネット中継をご覧ください！



焼津市議会映像配信

焼津市議会では、インターネットによる本会議のライブ中継と、録画映像を配信しています。傍聴に来ることができない場合でも、パソコンやスマートフォン、タブレット端末等で本会議の映像をご覧ください。録画映像の配信は閉場ごとおおむね7日(土日祝日を除く)以降からご覧いただけます。

◇「焼津市議会映像配信」で検索！◇

70歳以上の高齢者へ商品券を配布！ 市内高齢者に外出するきっかけを提供

住民税非課税世帯支援 給付金給付事業費

Q 給付対象世帯数の想定とスケジュールは。

A 直近で実施した価格高騰緊急支援給付金の支給実績を元に9千9百世帯を推定している。給付は8月中旬になる。

Q もっと早く支給できないのか。

A 6月半ばに令和5年度住民税非課税世帯を特定した後に実施する必要があるため。

デジタル変革推進事業費

Q 事業の詳細とマイナンバーとXID（クロスアイディー）を連携することによる市民へのメリットは何か。

A マイナンバーカードを所有し、本人認証をした人を対象に、1人3千円のキャッシュレスポイントを2万人に配布する。XID連携については、今後の電子申請や通知等に活用することで市のデジタル施策の展開につなげていきたいと考えている。

Q キャンペーンの時期は。

A 10月から11月までの2か月を想定している。

多電力使用事業者 支援事業費

Q 事業費の内訳を伺う。

A 市内の中小企業者への補助が4千万円、協同組合への補助が2千万円の合計6千万円。

Q 事業者数は。

A 中小企業者を80事業者、協同組合を10組合と見込んでいる。

Q 受付時期は。

A 8月1日から9月29日までの期間とする予定。

貨物自動車運送事業者 支援事業費

Q 事業費の内訳を伺う。

A 1台あたり1万円の補助で、普通小型が2千台、軽自動車が350台の計2千350万円。

Q 受付時期は。

A 多電力使用事業者支援事業費（右記）と同様に進めていく予定。

高齢者いきいきおでかけ 支援事業費

Q 70歳以上の高齢者へ、市内の登録店舗で使用できる3千円分の商品券を配布することだが、いつ頃どのように送るのか。

A 10月上旬を想定している。対象者へゆうパックにて送付する。

Q 発送時期が遅いのはなぜか。

A 入札による業者選定と商品券の校正などに時間がかかるため、早くても9月下旬となる想定。

Q 使用期限はいつまでか。

A 2月29日まで。

